

家庭学習の手引き

令和4年 藤井寺西小学校

本校では、「個性が伸びる学校」という学校教育目標のもとに、「考える子・やさしい子・元気な子」を育てるべく、学習活動に取り組んでいます。この中でも、「考える子」を育てていくうえで、毎日の規則正しい生活を通して、継続して学習に取り組む態度の育成は大変重要となってきます。基礎学力を定着させ、「自分の考えを持つ力」を身に付けさせるためには学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たしています。

そこで、より良い学習習慣の定着をめざして作成した「家庭学習の手引き」を配布させていただきます。この手引きを参考に活用していただき、家庭学習の定着にご協力していただきますようお願いいたします。家庭学習・生活習慣を見直し各家庭の事情に合わせた内容を考える参考資料として、ぜひともご活用ください。

基本的な生活習慣を身に付けましょう

～生活のリズムを身に付ける上で、大切にしてほしいこと～

☆あいさつ ☆早寝・早起き ☆朝食を食べる。

体調を崩しやすい子どもには、遅い就寝などの生活リズムの乱れ、朝食の欠食、不規則な排便習慣などが多く見られます。基本的な生活習慣を身に付けることで、心も体もしっかりと学習できる準備を整え、時間的な見通しを持って行動することが大切です。

家庭内の学習環境を整えましょう

～家庭学習にふさわしい、落ち着いた環境づくり～

☆決まった時間 ☆決まった場所 ☆整理整頓

毎日の生活習慣を見直し、勉強する時間と場所を決めるとともに、テレビやゲームをする時間なども決めましょう。毎日の音読だけでなく、読書の時間も決めて、静かに本を読む習慣も身に付けましょう。また、お手伝いなど家での自分の役割を持つことも、自己有用感を育成する上でとても大切なことです。

低学年〈1・2年生〉 **目標**基本的な学習習慣を身に付けよう。

家庭学習の時間のめやす **15～30分** 【学年×10分～15分】

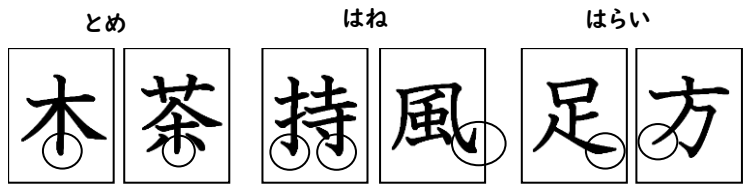
学校での学習内容

- 「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。
その中には、くり返し練習することで、力が付く学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」、「鉛筆を正しく持つ」、「明日の授業の準備をする」、「整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習をします。

家庭学習の内容

国語

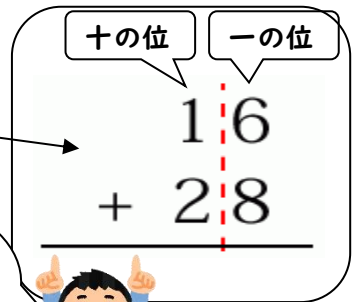
- (音読)・大きな声ではっきりと読む。
 - ・姿勢を正しく、口の形に気をつけて読む。
 - ・句読点「、」、「。」に気をつけて、すらすら読めるまで練習する。
- (漢字)・正しい姿勢で、ていねいにゆっくり書く。
 - ・正しい書き順で、「とめ、はね、はらい」に気をつけて正確に文字を書く。



- (読書)・子どもの興味・関心、年齢に応じた本を読む。
 - ・読み聞かせをしてあげることも大切なことです。
- (作文)・日記など、文章を書く。
 - ・書いた文章を読み直す。

算数

- ・計算カード 1年生は、たし算(くり上がり含)とひき算(くり下がり含)
2年生は、九九
- ・ゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身につける。
- ・正しく計算できるようになったら、少しずつ速くできるように練習する。
- ・問題を解き終わったら、間違いがないかを見直す。
- ・筆算は、位をそろえて書く。



その他

- ・学習したことを生活にいかす。(お手伝いや体力づくりなど)



線をひくときは、ものさしを
つかって書く。



中学年(3・4年生) **目標**進んで学習する習慣を身に付けよう。

家庭学習の時間のめやす **30～60分** 【学年×10分～15分】

学校での学習内容

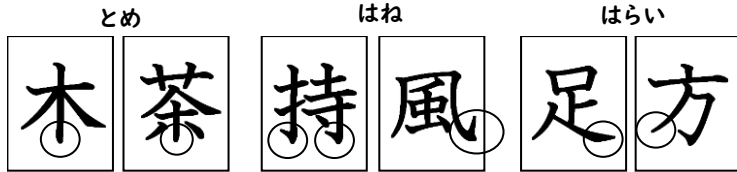
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学びます。また自分で学習することが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算【+、-、×、÷】の基礎基本を徹底して学びます。また、小数や分数など、少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- 5・6年生の算数は、3・4年生の基礎ができている上で、成り立っています。
- 社会、理科、総合的な学習の時間が始まり、学習する内容も大きく広がります。

家庭学習の内容

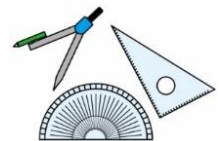
国語



- (音読)・毎日音読する習慣を身に付ける。
 - ・句読点「、」「。」に気をつけて、文章を正確に読む。
- (漢字)・正しい姿勢で、ていねいにゆっくり書く。
 - ・正しい書き順で、「とめ、はね、はらい」に気をつけて正確に文字を書く。



- (言葉)・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、意味調べをして使い方に慣れる。
- (読書)・いろいろな種類の本を読む。
- (作文)・日記など、文章を書く。
 - ・書いた文章を読み直す。



算数

- ・かけ算やわり算は、正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習する。
- ・三角定規、コンパス、分度器などの算数器具を正確に操作できるように練習する。
- ・筆算は位をそろえて書く。

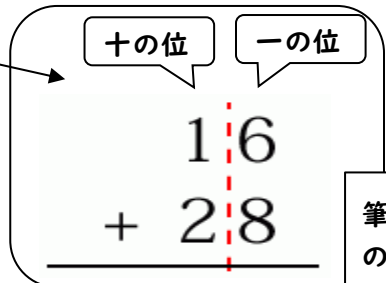
理科・社会

- ・教科書やノート、資料集を読み返す。
- ・学習したところをノートなどにまとめてみる。

その他



- ・新聞を読む。
- ・調べ学習をしてみる。(事典や図鑑、インターネットなどで調べる。)
- ・音楽で学習した歌やリコーダーを練習する。
- ・学習したことを生活にいかす。(お手伝いや体力づくりなど)



筆算や分数の横線などは、ものさしを使って書く。

高学年〈5・6年生〉 目標 自学自習の習慣を身に付けよう。

家庭学習の時間のめやす 60～90分【学年×10分～15分】

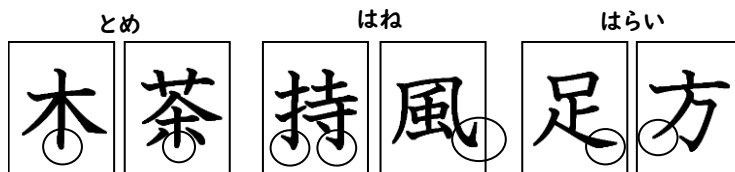
学校での学習内容

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができますようになります。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 英語の学習では、世界に目を向ける機会を作り、家庭科の学習では、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 中学校の学習内容は、高学年の学習ができている上で、成り立っています。

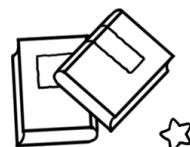
家庭学習の内容

国語

- (音読)・情景を思い浮かべながら読む、感情を込めて読むなど、自分なりのめあてを持って、練習する。
- ・詩や俳句を暗唱したり、朗読したりする。
- (漢字)・正しい姿勢で、ていねいにゆっくり書く。
- ・正しい書き順で、「とめ、はね、はらい」に気をつけて正確に文字を書く。



- ・漢字の送り仮名、漢字を使った熟語も合わせて覚えるようにする。
- ・ことわざ、慣用句を覚える。



- (言葉)・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に活用する。
- (読書)・いろいろな種類の本を選んで読む。
- (作文)・日記など、文章を書く。
- ・書いた文章を読み直す。

算数

- ・四則計算(+、-、×、÷)をくり返し練習する。
- ・答えの確かめを、自分でできるようにする。
- ・筆算は、位をそろえて書く。

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 16 \\ + 28 \\ \hline \end{array}$$

筆算や分数の横線などは、ものさしを使って書く。

理科・社会

- ・教科書やノート、資料集を読み返す。
- ・学習したところをノートなどにまとめてみる。

その他

- ・新しく学習する内容を予習して、学習の見通しが持てるようにする。
- ・学習したことを生活にいかす。